



8月28日、グランフロント大阪で6回目となる相続・事業承継コンサルティングアワード2020が開催されました。これまでと違ったのは、会場参加が表彰・授与される方に限られ、それ以外の方はZoom(Web会議システム)での参加となったことです。会場とZoomを融合したハイブリッド形式で大規模イベントを開催するのは今回が初めてでしたが、「Zoomでも会場の雰囲気十分に伝わってきた」というコメントを多数いただきました。

もう1つのトピックは、協会認定エグゼクティブコンサルタント及びシニアコンサルタントという新たな称号が創設されたことです。協会のリーダーとして、全国にいる協会会員やお客様の問題解決に貢献された方々に授与されました。

アワードで表彰された最優秀・優秀ナビゲーター、エグゼクティブコンサルタント、シニアコンサルタントのスピーチ。共通していたのは、お客様に寄り添い、土業の先生方や専門分野に強みを持つ協会会員と連携して問題解決を図るという姿勢が徹底していることでした。お客様、そして一緒に取り組んだ方々に対してどれだけ深い想いを抱いていたか。

スピーチで思わず言葉に詰まった場面が幾度となくありました。この空白の時間が意味することは、Zoom越しの参加者の心にも刻みこまれました。

今回は各地で活躍されている土業の先生方からもZoomでコメントをいただき、協会が目指している「全国にいらっしゃる相続や事業承継でお困りのお客様のお役に立つ体制」がより強固なものになったことを確信したアワードとなりました。

コロナ禍でご家族とこれからのことを話された方も多いと思います。Zoomを活用すれば、離れて暮らすご家族がいらっしゃる場合でも、それぞれのご自宅と同時に相談をお受けすることも可能です。どうぞお気軽にご連絡ください。(文責:野田)



東京オフィス移転のご案内

9月28日(月)、弊社東京オフィスは品川地区再開発に伴い右記に移転いたしました。

品川駅から徒歩2分。至便性はそのままに、新しく生まれ変わる活力に満ちたこの地で、相続・事業承継・ライフプランのコンサルティングをご提供してまいります。今後ともよろしくお願いたします。

※これに伴い、一般社団法人相続・事業承継コンサルティング協会も上記住所に移転いたしました。協会電話番号(03-6277-4734)の変更はございません。

住所: 〒108-0074
東京都港区高輪3-25-22
高輪カネオビル8階
電話番号: 0120-140-439
FAX番号: 0120-707-139



ご自身だけでなくご家族のご相談も承ります

先日、弊社のお客様のお姉さまより、こんなご連絡をいただきました。

「弟が亡くなったので、生命保険の請求をしたいのだけど、困っています」。事情を伺うと、亡くなった弟さんは60代独身で、保険の受取人をお母様にされていましたが、そのお母様は介護施設に入所されていて、請求手続きは到底出来そうにもないとのこと。

早速、弊社スタッフが生命保険会社とやり取りしながら、お母様に極力お手間をかけずに保険請求の手続きを済ませられるように手を尽くし、事なきを得ましたが、弊社としても考えさせられる事例となりました。

独身の方が生命保険に加入されると、死亡保険金の受取人は多くの場合ご両親に指定されることになります。その契約が何年何十年の月日を経ていくことで、ご両親が介護状態になられたり、先に亡くなることも想定される。そういうことを考えると、お客様ご本人のライフプランの変化があった時だけでなく、ご家族の状況に変化が生じた時にも、お気軽にご連絡いただけるような体制づくりがより一層重要だと感じます。

ライフプラン相談や老後の設計、ご自身及びご両親の相続対策、そして経営者の方のご相談を含め、気になることがあれば、お気軽にご一報ください。弊社では、お客様との接点があった時は、その内容をしっかり履歴管理し、あとあとフォローできる体制で臨んでおりますので。

株式会社キーストーンFPコンサルタンツ 代表取締役 石野 毅



～東京オフィス江上 朋良の取組み～

認知症資産凍結対策で心掛けていること

最近、「認知症による資産凍結」を心配されて相続相談を受ける機会が増えています。認知症と診断されるとご本人名義の定期預金や有価証券、生命保険も解約出来ませんし、自宅も売却出来なくなります。凍結した資産を動かせるようにと成年後見人制度を利用しても、自分たちの意向を聞いてくれるとは限りません。また長期化すれば成年後見人報酬も相当な負担となるので、心配な方は早めの相談をお勧めします。

相談の流れは相続と同じです。

- 1 家族構成・ご両親の資産状況・収支状況のヒアリング
- 2 現状の予想税額や遺産分割争いの可能性、納税資金準備状況など課題整理
- 3 ゴール目標(誰に何をどれくらい遺すか)の明確化

これでご両親が認知症になっても凍結から守るべき資産と金額が決まりますので、重要な課題から改善していきます。

遺言書や生前贈与、生命保険、家族信託などを組み合わせて改善案を考える点は、認知症対策も相続対策も同じですが、特に認知症予防にはお子様やお孫様とのコミュニケーションから得られる喜びが大きな力となります。生前贈与の全体像を考える場合でも、お子様やお孫様が喜んで介護や身の回りの世話を手伝いいたくなるような工夫を盛り込むようにしております。

資産を遺す方、それを引き継がれる方それぞれのお気持ちを大切に問題解決のお手伝いをさせていただく。それは認知症対策であっても変わりません。少しでもご不安をお持ちの方はどうぞ遠慮なく弊社までご相談ください。



今年もキャンペーンやります! 同封のチラシをご覧ください。

お客様紹介

木の文化を次代へつなげる! そんな想いをカタチにしました

シモアラホールディングス 下荒隆晴様 朋子様

～大人と子供と一緒に楽しむ遊び場『ハレノチクモリ』～



私が、下荒隆晴(りゅうせい)様、朋子様ご夫妻とご縁をいただいたのは、今から10年ほど前のこと。当時、石川県加賀市で

製材業と建設業を営む(株)シモアラの専務であった隆晴様の事業承継の計画・実行支援に携わらせていただいたのですが、それからあれよあれよという間に会社は大きく成長。今では、シモアラホールディングスをはじめグループ会社5社を立派に経営されるまでに至っています。

今回は、そんなご夫妻に7月23日に石川県小松市にオープンした、そのあそびば『ハレノチクモリ』への想いを語っていただきました。



— なぜ、『ハレノチクモリ』をつくらうと思われました?

木の特性を活かした温もりを感じられる地域の遊び場をつくりたい。大人と子供と一緒に遊べ、多くの親子がここで出会い、地域の輪が広がることを願って『ハレノチクモリ』が誕生しました。

もっとも大切にしたいのが、0歳～12歳くらいの子供と親御さんがそれぞれ遊びを見つけ、心地よく過ごせ想像力を育むための空間づくりでした。

— まるで、絵本から抜け出してきたような遊び場ですね

『ハレノチクモリ』は、絵本のようなストーリーが展開されていて、ハレクモの塔、きらぼし洞窟、くも工場、虹色カフェ、ぼかぼか図書館、飛行くじら、雨つぼつぼつ、風のテラスなど、テーマごとの空間が配置

されています。そして、遊び始めると意識しなくても「発見」「冒険」「探求」につながって遊びが発展していく。親子・友達同士のコミュニケーションが広がる仕掛け作りにも力を入れています。

— 『ハレノチクモリ』を通して、伝えたいことは?

「木」という素材の持つ風合い・香り・手触り、そして加工しやすく日本の風土にあったその性質は、私たちの中に根付いています。私たちの心に寄り添い、癒しを与えてくれる「木」をもっと身近に感じ、めいっぱい楽しめる空間としてこの遊び場が利用され、そして「木」と「人」がつくる文化を次代につなげていく一助になってほしいと願っています。

～石野よりひと言～

私が、約10年シモアラグループ様とお付き合いさせていただいて、常々感じることがあります。それは、「木」という日本文化に根差した素材への愛着。そして隆晴社長、朋子副社長を中心に社員一丸となってお客様や地域社会に貢献していこうという姿勢が一貫しており、将来のビジョンがひとつひとつ具現化していること。

一見、収益性を重視する企業活動と『ハレノチクモリ』のプロジェクトは、相反する活動のように見えますが、長期的な視点に立てば、それは見事に両立していくものと確信しています。本日は有難うございました。

(文責 石野)



そのあそびば ハレノチクモリ
<https://harenochikumori.com/>

1回90分(定員15名)、1日3回の入替制での予約受付となっています。週末は翌月まですぐに埋まってしまうほどの盛況ぶり。詳細は、ホームページ、Twitter、Facebook、Instagramなどをご覧ください。

教えて先生!

第8回:諦めるとは「今、何をしなければならないか」を考えることなのです

法相宗大本山薬師寺録事

奈良薬師寺東関東別院潮音寺副住職

村上 定運(むらかみ じょううん)先生



今回は、相続・事業承継コンサルティングアワード2020(詳細は次頁)でご講演いただいた村上副住職の話しをお届けします。奈良薬師寺にて年間

約3万人に説法を行い、修学旅行生からの人気No.1に7年連続輝いた現在35歳の若き僧侶でいらっしゃいます。

(1)からだの動きでこころは変わる

こころとは何でしょう?お経を学ぶと「感じることをすべて」だと理解できます。つまり、全身がこころなのです。だから、姿勢にはこころが表れています。つまり、人は顔を下に向けていますが、これを「面(つら)を倒す」=「面倒」といいますね。下を向くと影になり、暗くなります。では、楽しい時は?上を向いていますね。光が当たって明るくなる。これを「面白い」と言います。私達はこころをからだに投影しています。からだの動き1つでこころを明るくも暗くもすることができます。では、からだの動きをコントロールしているのは誰ですか?「自分」です。そして、他人のからだをコントロールすることはできない。つまり、自分の思い通りにいかないことはいっぱいあるものなのです。そのことに早く気付いた人から幸せになれるのです。

(2)みんなが幸せになる方法は「人に寄り添う」

説法を行う時、ものすごく不安です。目の前の方々はどういう人なのかわからないし、心理的な距離がありますからね。だから私は全力で自分のことを話します。私という人物を明らかにして、聞いてくださる方々との距離を縮める努力をします。すると「面白いお坊さんだな」と皆さん近づいてきてくれます。人に対する感情の両極端は「憎しみ」と「敬い」です。この感情が生まれる出発点は同じ、「不安」です。では、どこで両極端に分かれるのか?それは「近づくか、離れるか」。自分のことを隠して相手を遠ざけると「不安→恐怖→怒り→憎しみ」へと相手のこころは動きます。

一方、自分を明らかにして近づく努力をすれば、「不安→喜び→感謝→敬い」へと動きます。皆さんそれぞれがご自身を明らかにして距離を縮める、つまり「人に寄り添う」ことをすれば、互いに「敬う」ことができ、みんな幸せになることができるのです。

(3)諦めるとは「本質を見極めてはっきりさせること」

「小さい時に助けてもらったことに恩を感じて警察官を志していたが、目に障害があり、警察官にならないことがわかった。この気持ちをどこに向けたいのでしょうか」中学2年生の男の子からの相談でした。「君が幸せを感じたのは、警察官だったお兄さんが助けてくれたことだね。君はそのお兄さんを見て、「人に頼られること」に憧れを持った。君がそんな存在になる方法は、警察官だけじゃない。だから君にはまだまだできることがいっぱいあるよ。」仏教の世界で諦めるとは、「本質を見極めてやるべきことをはっきりさせること」。そして「今、何をしなければならないのか」を考えることです。今いる所がどんな場所であったとしても、自分でそこに光を当てて考えれば、できることは必ずあるのです。



奈良薬師寺東関東別院潮音寺

<http://choonji.blogspot.com/>

YouTubeチャンネル開設等、村上副住職が積極的に発信されています。



法相宗大本山薬師寺

<https://www.yakushiji.or.jp/>

1300年の歴史があり、唯一創建時から現存する東塔は国宝に指定されています。